

雨水浸透・貯留施設設置費補助金制度

富士市では、総合的な治水対策の一環として雨水流出抑制・地下水かん養を図る目的から、雨水浸透マス・雨水貯留タンク設置に際して、『雨水浸透・貯留施設設置費補助金制度』を設けています。

補助金対象施設と補助金額

補助対象建物	施設の区分	補助金額（上限額）	補助要件
敷地面積 1,000㎡未満の 住居用建物 〔自己用住宅〕 〔共同住宅等〕	雨水浸透マス 【A型】	1基につき 10万円	住宅の建築面積により補助金を受けることのできる個数は以下のようになります。 ①50㎡未満・・・・・・1基のみ ②50㎡～100㎡未満・・・・2基以内 ③100㎡～150㎡未満・・・・3基以内 ④150㎡以上・・・・・・4基以内
	雨水浸透マス 【B型】	1基につき 5万円	
	雨水貯留タンク	1基につき 3万円	①建築物1棟につき1基 ②貯留容量200L(リットル)以上のもの

補助金を利用いただくには

※購入前に申請してください。

- ① 市役所(河川課)へ相談・お問い合わせ
- ② 申請書の提出(表-1参照)
- ③ 現地確認・設置指導
- ④ 補助金の交付の決定・通知
- ⑤ 材料の手配
- ⑥ 工事の実施
- ⑦ 完了届の提出(表-2参照)
- ⑧ 完了検査(現地確認)
- ⑨ 補助金の交付

表-1 申請時に用意していただくもの	
必要書類	備考
1. 補助金交付申請書	印鑑は認印で可
2. 案内図	設置する住居がわかるもの
3. 浸透マス・雨水貯留タンク配置図	敷地・建物の簡単な平面図に設置場所を示したもの ※手書き、ボンチ絵でも設置箇所がわかれば可
4. 浸透マス・雨水貯留タンク構造図	浸透マスは標準図と著しく構造が変わる場合 雨水タンクはパンフレットのコピーでも可 ※手書き、ボンチ絵でも構造がわかれば可
5. 見積書	業者に請負依頼する場合は業者の見積書 雨水タンク等直接購入の場合は販売店の見積書 ※本人が施工する場合は材料費のみが補助金対象

表-2 完了時に用意していただくもの	
必要書類	備考
1. 完了届	印鑑は補助金交付申請書と同じものを使用
2. 領収書	設置にかかる費用の領収書（材料費、工事費等） 申請者本人施工の場合は材料費分 ※領収書は申請者本人のもの（原本を確認させていただきます）
3. 写真	工事施工前、施工中の様子、完成時の各段階の写真（5枚程度）
4. 申請者の口座振替申請書	必ず申請者の口座であること 印鑑は申請書の印と同じものを使用 ※銀行届出印でなくても可

※申請書、完了届、口座振替申請書は富士市ホームページよりダウンロードできます。

また、市役所消防防災庁舎5階河川課にも用意してあります。

※工事完了後、完了検査を経て補助金が交付されます。

※雨水浸透マス設置に適さない場所（急傾斜地崩壊危険区域、砂防指定地、法面の安定を損なうおそれのある区域）があります。

※詳しくは、河川課までお問い合わせください。

ホームページアドレス <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/kurashi/c0306/usui.html>

富士市 雨水浸透マス

検索

ホームページの検索は上記アドレスを直接入力していただくか、「富士市 雨水浸透マス」で、インターネット検索をしてください。

お問い合わせ先 富士市役所 建設部 河川課 TEL 0545-55-2834(直通)

雨水対策の 補助金制度 ご存知ですか？



大雨時の道路冠水状況

田宿川 今泉地区

富士市内のたくさんのご家庭で『雨水浸透マス・雨水貯留施設』を設置していただいております。

より快適で、洪水のない安全な暮らしを守る一助のために、

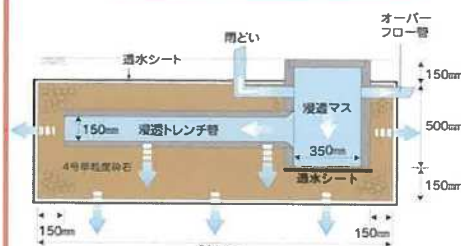
『雨水浸透マス・雨水貯留施設』設置にご理解、ご協力をお願いします。

雨水浸透・貯留施設設置費補助金制度



雨水浸透マス・雨水貯留タンクの種類と構造

A型 浸透マス+浸透トレンチ管

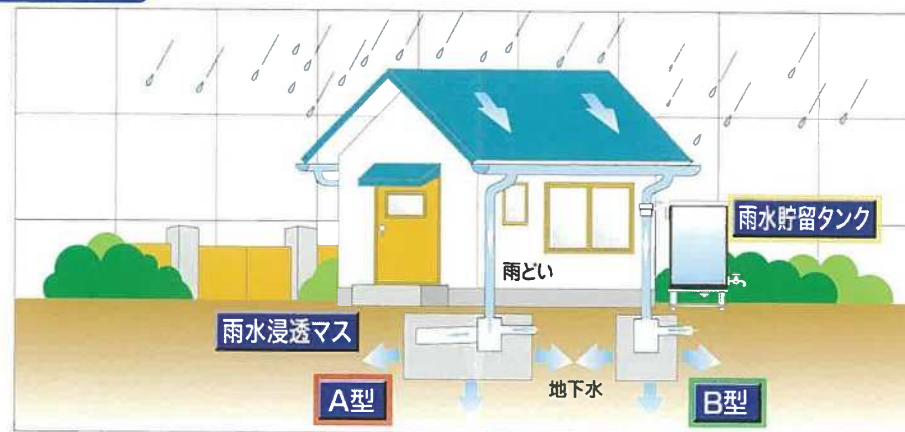


〈埋設に要する面積〉長さ2m×幅0.7m

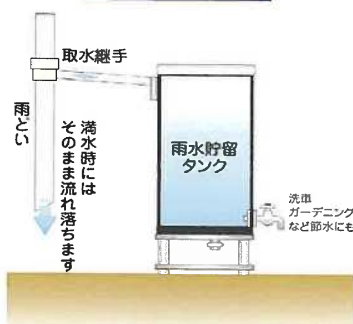
※上記構造と同等以上とする



A型埋設工事例(手前の筒型部がトレンチ管部です)



雨水貯留タンク



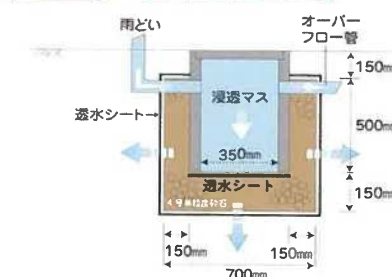
補助金の対象となるのは

容量200L以上のもの

公共下水道に接続し、不要となった浄化槽の
転用については、ご相談ください

おうちで、調整池の役割をはたします！！

B型 浸透マス単体



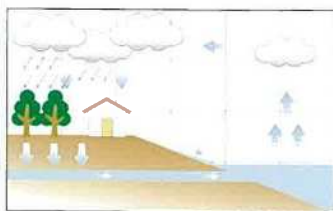
〈埋設に要する面積〉長さ0.7m×幅0.7m

※上記構造と同等以上とする



B型埋設工事例

近年、短時間に集中して降る大雨により、全国的に浸水被害が多発しています。雨水が、コンクリートやアスファルトによって地中への浸透を断たれたことがその一因とされています。



雨水浸透マスは、それぞれのご家庭でも取り組み、雨水の循環・治水の助けとなります。屋根に降った雨水を、雨どいを通じて地中の浸透マスへ集め、効率よく大地に浸透させます。

- ・河川への雨水流出を抑え浸水・洪水の被害を軽減
 - ・地下水をかん養
 - ・樹木への補水
 - ・水質や水辺の保全を保つなど幅広い効果
- 雨水貯留タンクは、雨どいから雨水を貯留し、庭木の散水や、災害など断水時の雑用水としても利用でき、節水にも役立ちます。



地上に降る雨の一部は、地中に浸透して地下水となります。地下へ浸透した雨水は、湧き水となって川を下り海へ注ぎ、あるいはより深い地下水層へと長い時間をかけて流れていきます。こうした自然の水循環サイクルの動きを回復させることで、大雨が降っても洪水の起こりにくい自然の仕組みを甦らせることができます。

お宅にできる水害対策で
雨との上手なお付き合い。
あなたもはじめてみませんか？



注) 必ず契約・購入前に補助金の申請をし、
交付決定通知を受けてから着手してください。
交付決定前に着手すると補助の対象になりません。